

# サクッと新鮮、健康野菜のゴーヤをつくりましょう!

つくった人だけが  
わかる喜びがある!

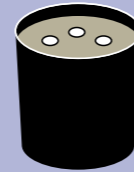


## ここがポイント!

- ◎ 苦土石灰などで、中和した土壌で栽培する
- ◎ 深植えはしない
- ◎ 整枝、誘引を早めに行い、着実不良・病害発生を防ぐ



### 1. 種まき。



ポリ鉢に3つづまきます。  
気温が十分に上がる  
4月中旬～5月中旬以降が  
良いでしょう。



本葉が5枚になったら  
1本に間引きします。

### 5. 誘引。



つるが良く伸びて絡まるように、  
ネットなどを張ります。最初のうちは  
誘引する必要があります。

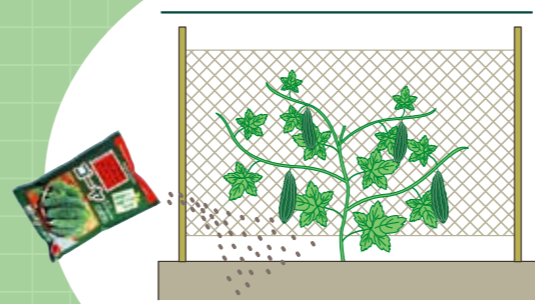
### 2. 土づくり。



元肥1株あたり  
約80g

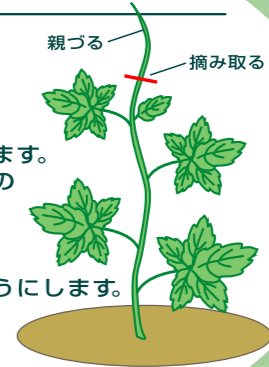
植付けの約10日前に苦土石灰100～120g/m、  
たい肥1kg/mと「ゴーヤの肥料」を元肥として  
土とよくまぜます。

### 6. 収穫・追肥。



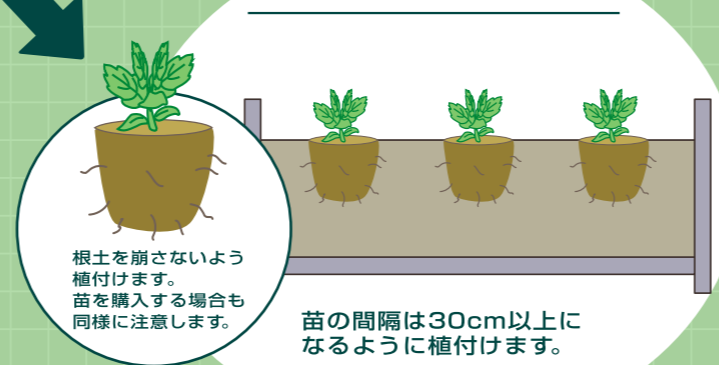
ゴーヤ表面のイボイボがふくらんできたら  
収穫期です。長い間たくさんの実をつける  
ので、株の周囲に追肥を与えます。

### 4. 摘芯。



親づるを摘み取ります。  
下のそれぞれの葉の  
つけ根からつるが  
伸びてきます。  
つるを沢山出して、  
実を沢山つけるようにします。

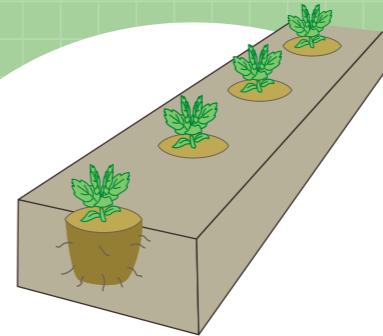
### 3. 植付け(プランターの場合)。



根土を崩さないよう  
植付けます。  
苗を購入する場合も  
同様に注意します。

苗の間隔は30cm以上  
になるように植付けます。

1.5kgで通常の堆肥の  
15kg分の効果がある  
「固形濃縮堆肥」がおすすめ。



### 植付け(地植えの場合)。

苗の間隔は50～80cm以上  
になるように植付けます。

朝日工業株式会社  
<http://www.asahi-kg.co.jp>